



次世代に継ぐものづくりとまちづくり

高岡鑄物発祥の地・金屋町の伝統的な家屋と町並みは、先人達の鑄物づくりの技と400年の歴史がつくり出したもの。今日、伝統的なものづくりの技が、時代の変化や経済情勢の変動に翻弄されている。

高齢化や担い手不足によりやむなく廃業する事業者がいる中、昨年金屋町に金属工芸工房「かんか」が開設され、空家を再生して高岡市伝統工芸産業技術養成スクール出身の若者達が自主運営している。新たな試みとしてのゾーンミュージアム「金屋町楽市inさまのこ」はすでに3回を数えた。そして若い人々と金屋町の住民やかつての職人さん達の交流が広がっている。このような輪が他にも広がっていかれば、町の活性化につながり、観光拠点にもなり、高岡の地場産業に一石を投じることになるだろう。

400年の歴史の中で培った先陣の労苦による伝統産業の灯を絶やさないためにも、我々は何を考え、何をし、何を残していくのか。まちづくりは人づくり。産・学・官・町が一体となって、次の400年に向けての目標を探りたい。

金屋町
開町400年
記念フォーラム

基調講演・パネリスト
宮田 亮平
東京藝術大学 学長

パネリスト
上野 幸夫
富山国際職藝学院 教授

パネリスト
立川 善治
現代工芸美術家協会富山会 会長
2011年
第50回日本現代工芸美術家展
内閣総理大臣賞受賞

パネリスト
加藤 昌宏
金屋町自治会長

コーディネーター
武山 良三
富山大学芸術文化学部 教授

総合司会
平戸 香菜
金属工芸工房かんかスタッフ

<http://kanayamatitukuri.takaoka.hometown.jp/>

2011
9.11 (日)

入場無料・予約不要

時間: 13:30~16:00

会場: ウイング・ウイング高岡 4階ホール

内容:	13:30	主催者あいさつ
	13:40	基調講演
	14:40	パネル討論会
	16:00	終了

主催: 金屋町まちづくり協議会、高岡市

共催: 金屋町自治会、町なみを考える藤グループ、近世高岡の文化遺産を愛する会

協賛: 富山県教育委員会、富山大学芸術文化学部、高岡市民文化振興事業団、

高岡商工会議所、伝統産業高岡銅器振興協同組合、高岡銅器協同組合、高岡銅合金協同組合

お問い合わせ先: 金屋町まちづくり協議会(事務局: 鑄物資料館内)

〒933-0841 富山県高岡市金屋町1-5 Tel/Fax 0766-28-6088